

## ICCR インド政府奨学金 2021-22 年度の一般奨学金制度

インド文化関係評議会（ICCR）は、2021年から22年度の一般奨学金制度（GSS）に基づいて、インドでの高等教育に関心のある日本人学生に奨学金を授与するものとします。2021年5月30日は申請の最終日となっています。

1. 2021-22年度の関心のある学生からの申し込みは、ICCRのA2A奨学金ポータル [www.a2ascholarships.iccr.gov.in](http://www.a2ascholarships.iccr.gov.in) を通じてオンラインで招待されます。このポータルサイトは現在、入場を申請するために運用されています。興味のあるすべての申請者は、上記のWebサイトにご自身アクセスして申請して下さい。さまざまな大学/機関に精通される事をお勧めします。申請者は、興味のある大学/機関のWebサイトにアクセスし、提供されるコース、ガイドライン、資格基準、および一般情報を調べてから、入学を申請して下さい。

2. すべての申請書は、学生がA2Aポータルを介して各大学に直接送信する必要があります。今回は東京のインド大使館では試験は行われません。

3. すべての申請書は、インドの大学/機関への入学時に18歳以上30歳以下である必要があります。

4. 工学士の場合。技術コース、物理学、化学、数学（PCM）は、学校の11年生および12年生標準で必須であり、エンジニアリングコースの必須要件です。学校の10年生および12年生基準のマークシートは、英語の成績証明書と一緒にアップロードする必要があります。必要な書類が英語でない場合、または英語の翻訳が提供されていない場合の不完全な申請は大学によって一時的に拒否されます。

5. 入学手続きは、医療/パラメディカル（看護/理学療法/麻酔など）/ファッションコースへの入学には適用しません。科学コースの場合、実験用化学薬品およびその他の関連する付随的費用の支出は、学生自身が負担します。

6. 強制的な個人医療保険（最低額が保証される金額は、年間500,000インドルピーのみ）は、ICCRの奨学金を利用するための必須要件です。保険の適用範囲は、旅行前またはインドに到着した直後に確保する必要があります。医療保険の詳細については、申請者はA2Aポータルにアクセスしてください。

7. 留学生の安全を確保するために、ICCRは、可能であれば、学生にホステルに滞在するようアドバイスしています。ただし、当該機関がホステルへの滞在を主張しない場合、学生は民間の宿泊施設に滞在することができます。

8. 質問がある場合、申請者は大使館にメール：[edu.tokyo@mea.gov.in](mailto:edu.tokyo@mea.gov.in) または電話：03-3262-2391 内線：407（平日1000～1700時間のみ）でお問い合わせをお願い致します。